

平成 24 年 6 月 18 日(月)宣誓式

私たち 64 回生 39 名は、看護師をめざす決意を新たに示すため、誓いの言葉を述べました。そこで、1 年間で楽しかったこと、つらかったことなど様々な思いがこみ上げてきました。この仲間たちだったからこそ、どんなことでも頑張ることができたのだと改めて感じることができました。

これからもたくさんの人に支えられていることに感謝し、1 日 1 日を大切にがんばっていきます。

2 年生

---

## 64回生 誓いの言葉

看護師という同じ夢を志し、共に歩んできた私たち39名は、本日志を新たに、看護の精神を受け継ぐべく、今ここに立っています。

昨年3月に起きた東日本大震災では、赤十字関係者の活躍を見て、私たちも赤十字看護師になり、苦しんでいる人々の役に立ちたい、心の支えになりたいという気持ちが、より一層強くなりました。

何もかもが初めてで、戸惑うこともたくさんありました。

不安と緊張を抱えながら臨んだ初めての実習では、自分の未熟さを痛感すると共に、患者様と接することに喜びと責任を感じました。

グループワークでは、一人一人違う価値観があり、意見がぶつかることもありました。

その中で、私たちを支えてくれたのは、時に優しく、時に厳しく指導して下さった諸先生方、温かく見守り支えてくれた家族の存在が、私たちを強くしてくれました。

そしてなにより、悩みや苦しみを共に分かち合い、乗り越えてきた仲間たち。そんなたくさんの支えがあったからこそ、今もなお夢に向かうことができます。

看護の道を進めば、たくさんの壁にぶつかることもあるでしょう。

しかし、同じ夢を追う仲間たちと互いに支えあい、切磋琢磨していきたいと思えます。

私たちは、赤十字看護師として、人の痛みや苦しみに寄り添いながら、個人を尊重し、支える力を身につけるべく、これからもお互いに励まし合い、学び続けることをここに誓います。

---







成人看護学方法論  
患者指導の発表会

成人看護学方法論 では、2 年次に糖尿病・直腸癌・脳梗塞などの事例に対してグループで看護過程を展開しています。本日は、看護計画の中から、患者指導の実際を発表しました。皆で指導内容を考え、パンフレットを作成しました。指導はインシュリン自己注射、フットケア、ストーマ管理、嚥下訓練などでした。患者さんにわかりやすいように考えて作成したパンフレットでしたが、患者役の学生に対してといえ、緊張して難しかったようです。患者役からの質問に対して返答に困ってしまいました。指導とは単に準備したことを伝えるのではない事を強く感じたと思います。患者さんを理解していないと個別性に合った指導はできないのです。10 月からの実習に対する期待と不安が高まります。



## 災害救護訓練に参加しました！

平成 24 年 9 月 29 日(土)さいたま市沼影市民プールで行われた、日本赤十字社埼玉県支部災害救護訓練に本校の 1 年生が被災者役として参加しました。以下は学生の感想です。

私たちは先日の災害救護訓練に参加したことで、医療スタッフがどのような救護を行っているか知ることができました。そして、被災者役を通して処置を受けるまでの時間は、とても不安に感じるということがわかりました。

これらの経験を通し、将来赤十字の一員として、迅速な救護を行える看護師になりたいと思いました。そのために、これからの勉強をより一層頑張ろうと思います。

